

GIGAスクール構想元年！萩生田光一文部科学大臣登壇

第4回 全国ICT教育首長サミット 開催！！

「GIGAスクールで変わる新しい学び」

全国ICT教育首長協議会主催による「全国ICT教育首長サミット」は6月4日、「NewEducationExpo 2021」東京会場において、密を避けオンラインにより全国からの自治体の参加を得て開催いたしました。

本協議会は、2021年6月7日現在で、130自治体の首長から賛同いただき、未来に羽ばたく子供たちのためにICT教育を推進する活動を行っております。去る4月7日、GIGAスクール構想で小中学校の児童生徒1人1台端末環境が整備されたことを受け、ICTを活用した新しい学びや環境整備に関する提言書「提言2021」を萩生田光一文部科学大臣に手渡しました。

GIGAスクール構想は首長が自ら推進するという大きな役割を担っていることから、この度サミットに萩生田光一文部科学大臣にご登壇いただき、激励と推進への役割についてのご示唆をいただきました。

■ 来賓祝辞 文部科学大臣 萩生田光一 様より

先日、全国ICT教育首長協議会「提言2021」を頂き、全国ICT教育首長協議会が充実した活動に取り組んでいただいていることに厚く御礼を申し上げます。今やパソコンやタブレットは子供達にとって鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。

文部科学省では、GIGAスクール構想の実現に向けて学校ICT環境の抜本的な改善を目指し、児童生徒1人1台端末等の整備を急ピッチで進めてまいりました。本年4月からギガスクール元年が始まり、日本中の学校で1人1台端末環境の新しい学びが本格的にスタートとなり、いよいよ環境整備のフェーズから利活用推進のフェーズに移行するという大きな節目を迎えます。本協議会にはsociety5.0の社会に自信を持って子供達を送り出せるよう、GIGAスクール構想を牽引して頂ますようお願い申し上げます。

これからも課題は予算だという話がありましたが、機械ですから更新時期を迎えなくてはなりません。パソコンやタブレットは学校における机や椅子と黒板と同じ標準備品であり、学校になくてはならない備品であるという風に改めて強調させていただきたいと思っております。

ICTはさまざまなことができます。是非とも先進的な取組をされている首長の皆さんに自信をもって進めただけであればと思っております。7月には、ISSから宇宙ステーションと全国の学校を結びまして、宇宙教室を行う予定です。ICT環境が整うと、まさに宇宙から授業ができるんだと、子供達も体感してもらえたらなと思っておりますので、首長の皆さんの協力をお願いします。今後、協議会の活動の一層の充実とサミットのさらなる発展を期待しております。



■ 「全国ICT教育首長サミット」

- 全国ICT教育首長協議会会長あいさつ
佐賀県多久市 横尾俊彦市長
- 来賓紹介
来 賓 萩生田光一 文部科学大臣
来 賓 今井 裕一 文部科学省
初等中等教育局情報教育・外国語教育課長
- シンポジウム（事例発表・ディスカッション）
会 長 佐賀県多久市 横尾俊彦市長
理 事 福島県郡山市 品川萬里市長
理 事 長野県下伊那郡喬木村 市瀬直史村長
理 事 熊本県球磨郡山江村 内山慶治村長

＜参加された首長＞ 北海道愛別町 矢部福二郎町長、清水町 阿部一男町長／茨城県水戸市 高橋靖市長、東海村 山田修村長／群馬県富岡市 榎本義法市長／千葉県酒々井町 小坂泰久町長／新潟県上越市 村山秀幸市長／岐阜県岐阜市 柴橋正直市長、理事 美濃市 武藤鉄弘市長／愛知県小牧市 山下史守朗市長、知立市 林郁夫市長／大阪府東大阪市 野田義和市長／兵庫県加東市 安田正義市長／奈良県田原本町 森章浩町長／香川県琴平町 片岡英樹町長／高知県須崎市 楠瀬耕作市長、佐川町 堀見和道町長／大分県佐伯市 田中利明市長（参加40自治体、会場参加者60名）

＜問合せ先＞「全国ICT教育首長協議会」事務局（一財）日本視聴覚教育協会内
TEL：03-3431-2186／メール：info@ictmayors.jp

■ 全国ICT教育首長協議会長あいさつ 佐賀県多久市 横尾俊彦市長

本協議会は、全国130の市区町村の首長が加盟していて、これまで、コンピュータ整備のための地方交付税交付金の増額や、現在のGIGAスクール構想実現の基礎となる1人1台PCの整備について自治体が横の連携を図り切磋琢磨し研究してまいりました。今回提出した「提言2021」では、継続して進化するDXの推進やICT活用教育の充実に向けて支援、教育充実のための戦略的研究の重要性について萩生田文部科学大臣にお伝えすることができました。また、今後の最大の課題として、端末の更新時にも中長期的な予算の確保と継続的で持続的なICT教育の充実も視野に入れて進めていかなくてはなりません。今後も、この協議会で未来志向の教育の実現に向けて努力してまいりたいと思います。



■ GIGAスクール構想の推進について 文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課長 今井裕一様

文部科学省がGIGAスクール構想の目指す学びのDXの中で端末は学びの文房具として日常的なツールとして活用していくということであります。このことは、中山間地域や海外の学校や大学企業と接続した学習など、外部と繋がることができます。また、多様なお子さんに対するオンライン支援など全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びを進めていきたいと思っております。4月からの本格的な運用開始に向け3つの方策をすすめていただきます。1点目は、1人1台端末の積極的利活用を推進していただきたいと思っております。2点目はネットワーク環境のアセスメントの評価をしながら、効果的な共有をお願いします。3点目は、高校におけるGIGAスクール構想の促進です。これらと併せて指導面も充実してまいります。全国の教育委員会と連携し、情報発信に務めさせていただき課題に取り組んで参ります。



理事自治体の取組概要

1.理事 福島県郡山市 品川万里市長

これからGIGAスクール構想では、オンライン環境でも資料のテキストがはっきりと読み取れるくらいの4K画質のモニターを整備するくらいの整備が必要なのではとあらためて感じているところです。郡山市は、これまでもICT整備を積極的にすすめ、3人に1台のタブレット端末が整備されていたので、1人1台は必然で積極的に手を上げてきました。今後もこのGIGAスクール構想による変革を進め持続的な住みよいまちづくりを推進していきたいと思っております。

2.理事 長野県下伊那郡喬木村 市瀬直史村長

喬木村では、GIGAスクール構想の実現に向けた基本方針を示し、これまでの成果と課題を踏まえた推進を行っています。基本方針には、端末を家庭に持ち帰り、日常的に活用することで学びを止めない環境をつくることや、そのための情報発信を強化などが示されています。さらに、個別最適な学び・協働的な学びを実現のために、日常生活に活かし、学校生活のDXを実現しながら先生がチャレンジできるような体制を強化することを示し、進んでいきたいと思っております。

3.理事 熊本県球磨郡山江村 内山慶治村長

山江村では、これまで10年にもわたり「学校教育のICT活用」に取り組み、学力向上や過疎化の阻止など様々な成果を上げています。電子黒板の活用、タブレットPC、無線LAN、デジタルコンテンツやドリル、ICT支援員などの整備を計画的に推進するとともに、教育環境や支援を強化しています。GIGAスクール構想により、ネットワーク環境を100MBから1GBに強化しました。また、AI英会話ドリルを導入し活用したところ、話す力・聞く力が向上しているなど効果を感じています。GIGAスクール構想でしっかりと効果を出し、1人1台を新たな学びへの挑戦としていきたいです。

